

## 学術研究Ⅱ 中間発表 概要

7 月 15 日火曜日に、第一回 SSH 学校公開として、2 学年による学術研究Ⅱ「中間発表」があった。ゼミに分かれて、班ごとに昨年度 2 月から始めた本格的な課題研究でのこれまでの活動内容や、現時点での成果、これからの研究の展望などを述べた。例年とは異なり、大学生の TA さんや先生方以外に、国際交流で訪れた台湾の姉妹校の生徒さんも同席した。彼らや同級生との活発な質疑応答は、班のメンバーだけでは気付くことができなかつた課題を発見でき、今後の研究に向けて有意義な時間を過ごした。

### 各ゼミにおける発表の様子

#### 物理ゼミ

多くの班の発表がうまくまとまっていて分かりやすかった。また、細かな部分に目を向けた質問が多く、一人一人の学術研究への意識の高さを見ることができた。今回の発表で受けた指摘をもとに、最終発表に向けて良いものを作っていきたい。

#### 化学ゼミ

発表の質が高く、質疑応答が活発に行われていた。ただし、時間内に発表を終えられなかつた班が多くあり、スムーズな進行のためにも今後改善していきたいと考える。思っている以上に研究できる期間が少ないそうなので、時間を大切にしながら研究を進めていきたい。

#### 生物ゼミ

各研究における細部についての質疑応答が多く、とても有意義な発表となった。しかし、スライドのグラフの文字が小さく、見にくいことがあったので、今後多くの人に見られることを考え、工夫していきたい。



#### 地学ゼミ

全体的に自分たちの研究のこれまでの成果を伝えようという姿勢が強く見られた。校外研修を終えて間もない発表であったが、研修先で得た知見をうまく発表に取り入れていた班もあった。ゼミ担当者からは、発表の仕方とスライドのデザインについてのアドバイスが目立ったため、それぞれの班でしっかり改善していきたいと思う。

#### 数学ゼミ

欠席が多く、少ない人数での発表となった班がいくつかあったが、全ての班でわかりやすい説明をしてくれた。ゼミ担当者からは、数学ゼミらしい発表が多くあったが、改善できる点も多いとの講評をいただいたのでこれからも研究を頑張っていきたい。

#### 情報ゼミ

発表は今までのマッチングサイトの制作の進捗について話すことが中心となった。質疑応答で問われたことについて、抽象的な回答しかできなかったため、ゼミ内で話し合い、具体的な解決方法を決めていきたい。また、全員が均質情報を持っていないため、綿密な情報共有が必要だと考える。



### 国語ゼミ

深い質疑応答が行われ、質疑に対してははっきりと対応していた。しかし、質問をする人が固定化されてしまっていた。これからの研究では、仮説や考察をさらに深めていきたい。

### 地歴ゼミ

どの班も発表時間を有意義に使っていたが、発表会全体を通して、生徒からの質疑が少なかった。今回の質疑応答を、今後の研究や発表に活かしていく。

### 公民ゼミ

配布されたレポートを見ながら集中して聞いていたが、原稿を見ながらの発表も多かった。引用か考えがわかりづらい書き方も多く、文献のどこから引用したのかを明記する。

### 英語ゼミ

タイトルやアイデアは非常に興味深いテーマが多かった。時間を有効に使えないなど、発表の練習が全体的に不十分だったため、今後はスケジュールを見通して研究を進める。

### 保体ゼミ

各班とも、レポートをしっかりとまとめ、工夫して発表をしていた。これからは、研修で企業や大学から得たアドバイスを踏まえて、質の高い学術研究にしたい。



### 音楽ゼミ

事前の発表練習が功を奏し、良い発表ができた。どこに焦点を当てるのかが定まれば、もっと説得力が上がるとの指摘をいただいた。

### 家庭ゼミ

重要なポイントを絞れず、発表時間を超過してしまう班が多くあった。評価シートやアドバイスを踏まえ、より良い研究を進めていきたい。

### 災害研究ゼミ

それぞれのグループのスライドに工夫が見られ、分かりやすいものが多かった。活発な質疑応答を通して、互いに理解や充実性を高められた。今後も、主体的に研究に取り組んでいく。



### 【編集後記】

どのゼミでも、これまでの研究成果を活かした発表ができていた。しかし、発表準備が不十分であったり、研究内容が明確でないなど課題も多くあった。今回の発表で得た学びやアドバイスを参考にしながら、これからの研究活動に取り組んでいきたい。

